

- ▶ 綾川町は、香川県の中央に位置し、北東部に高松市、西部に丸亀市、南部にまんのう町に隣接し、高鉢山、鷹巣山、鞍掛山、火の山等の幾多の中心的山がある。人工林のヒノキについては、保育期にある森林が大半を占めており、森林経営計画を通じた除伐・間伐の指導を中心に松くい虫の被害を受けた跡地をヒノキ等への転換を図り、必要に応じた育成天然林を推進するなど山地災害防止にも配慮した森林施策を実施する必要がある。
- ▶ とりわけ、本町は町有林を多く有しており、私有林における整備意欲の喚起のためには、町有林が中心となって整備を進めていくことが必要な状況。
- ▶ 令和元年度においては、町有林のうち、間伐や枝打ちの必要な区域の整備に取り組んだ。

事業内容

1 町有林整備事業

- 町有林のうち、間伐や枝打ちの必要な区域の整備を実施。令和元年度においては粉所東 白土地区、粉所西 高山地区について枝打（2～3メートル）保育間伐（30%の間伐）を行った。樹種は主にヒノキである。
- 【事業費】4,218千円（うち譲与税2,352千円）
【実績】11.34ha（内訳：保育間伐8.9ha、枝打2.44ha）



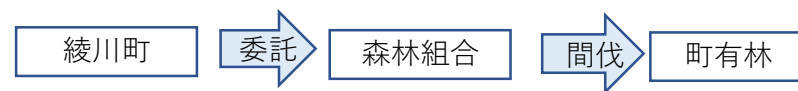
（保育間伐施行中の様子）



（枝打施行中の様子）

事業スキーム

- 1 間伐等の森林整備への支援（令和元年度町有林整備事業）



工夫・留意した点

- 綾川町森林整備計画に則し、森林が有する水源涵養機能、山地災害防止機能が効果的に発揮される箇所を森林環境譲与税を財源として優先的に施策を行った。
- 実施面積が従来の約2.3倍になったことで、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。

基礎データ

①令和元年度譲与額	2,352千円
②私有林人工林面積（※1）	804ha
③林野率（※2）	47.0%
④人口（※3）	23,610人
⑤林業就業者数（※4）	11人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より